

バーチャルリアリティを用いた腹部外傷症例シミュレーター開発

_____ バーチャルリアリティと拡張現実を複合した画像立体視を利用した腹部外傷症例シミュレーターの開発

_____ 昨今、各種外科専門領域において、バーチャルリアリティ（VR）技術を用いたコンピューター外科シミュレーションがすでに開発・実用化されています。これらは、これからの時代の外科教育には欠かせないものとなっていくと思われ、外傷外科の分野も例外ではありません。当研究は、患者様の CT スキャンデータを用いて医師の教育用にバーチャルリアリティ技術を使ったトレーニングシステムを作成することを目的としております。

_____ 当シミュレーターの開発により、次世代の外傷外科医育成および、外傷を取り扱う可能性のある全ての外科医の生涯教育に利用することで、腹部外傷患者の救命率改善につながり、外傷診療の質向上に貢献することが期待されます。

_____ 当院救命センターに搬入された腹部外傷患者で、入院時に CT を撮影している患者を対象とし株式会社 HoloEyes および筑波大学バーチャルメディカルシミュレーションリサーチユニットの協力の元、腹腔内臓器および大血管の損傷の VR モデルを作成し、腹部外傷手術の模擬体験を術者がヘッドマウントディスプレイで体感できるシミュレーターを作成します。

_____ 本学、筑波大学バーチャルメディカルシミュレーションリサーチユニット、株式会社 HoloEyes

_____ 研究実施に係るデータを取扱う際は、患者様の個人情報とは無関係の番号を付して対応表を作成し、匿名化を行い被験者の秘密保護に十分配慮します。対応表はデータ管理責任者が医局内施錠可能な事務机引き出し内に保管します。また、研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにします。

